

## 「インセンティブがなければ 熱回収施設への投資は進まない」

荒井 熱回収の認定に エネルギーを生かして ついて、民間の産業廃 棄物処理施設における インセンティブ についても、これから サーマルリサイクルを さまざまな施策をつく 進めるといふことで大 変評価している。認定 運用する民間業者や自 治体を含め、あらゆる施 設の廃熱を利用してイ ンセンティブがなければ熱回 収施設への投資は進ま ない。環境と金融をど う結び付けるか。経済 的な後押しが必要では ないか。

小沢 熱回収を進める スムを提案している。 と3Rに反するという 指摘もあったが、3R を進めても焼却施設は 残る。その場合に、今 の焼却施設はかなりの 部分、熱エネルギーが 大気に放出され、活用 されていない。 「環境経済ビジョン」 今回の法改正では熱

静脈産業メジャーの海 外展開支援として、他 都市や他国に廃棄物処 理システムを一体とし

環境型社会を推進してい くと同時に、そこにシ ンセスが生まれてい ると、循環型社会が継 続されていくことを念 頭に置いている。特に 3Rに関しては、まず は法整備をしなければ ならない。その後、企 業や国、地方自治体と いうプレーをする方々 が何の役割を持って循 環型社会をつくってい くのかということを決 めなければならない。

静脈産業の担い手つ くり、啓発を含めて一 緒になって考えていけ するような場をつくら せてほしい。

## 「技術革新で 経済成長にもつなげたい」

森本利治(民主党) の支援について、海外 (新成長戦略「環境経 済成長ビジョン」)の目 標、それをビジネスと 系メジャーの海外展開 していくのであれば、

そこで培われた技術や ノウハウをパッケージ として海外に展開する 発想はないか。国内の 廃棄物処理ビジネスは それ自体、インフラ輸 出として活用できるの ではないか。 小沢 許可有効期限に 関する特例制度の創設 とともに、優良な処理 業者の育成、最先端の 研究、技術開発の推進に 取り組むたい。焼却熱 回収の促進を通じた温 暖化対策への貢献など 積極的に技術革新を図 り、経済成長にもつな げ、わが国でも日の当 たる素晴らしい成長産 業となることを目指し たい。(関連記事1面)

# 参議院環境委員会 質疑要旨(5月11日)

て展開するとしている が、具体的な見通しに ついて伺いたい。  
大谷 アジア全体の循

り組みを考えている。